

SDGs トリシマの具体的な取組み

SDGs 目標9番 [インフラとイノベーション]

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



産業と技術革新の基盤をつくろう

インフラを整えて、イノベーションで社会の課題を解決し、
よりよい世の中をつかっていこう

安心、安全で快適な暮らしを送るための生活基盤、上下水道や電気、道路、インターネットといったインフラ。世界のどこでも、誰でも、このインフラが当たり前に見えるようしようというのが目標9番の一つ。これは目標11番「住み続けられるまちづくりを」ともつながりがあり、以前トリシマの減災技術を取り上げたので、今回は9番のもう一つのテーマ、イノベーションに着目します。

イノベーションとは、日本語では技術革新と訳されることが多いですが、ようは「こうなったらいいな！」を新しいモノやサービスで実現していくこと。歴史を遡れば蒸気機関車の発明や自動車の登場、近代でいえばコンピュータや携帯電話、インターネットの普及もイノベーション。今はご存じ、IoTやビッグデータ、AI（人工知能）の活用などが注目されていますが、もちろんトリシマもお客様の悩みを解決し、現場のニーズを叶えるため日夜励んでいます。



「故障予知ができればいいな！」を実現する 回転機械モニタリングシステムTR-COM



「ポンプの管理が煩わしいし、難しいことはよくわからない……」「壊れてからでは遅い。少しでも早く異常がわかれば……」

お客様のそんなお悩みを解決するために開発したのが、トリシマの回転機械モニタリングシステムTR-COM。小型センサを取り付けるだけで、スマホ一つで機械の状態を監視できるシステムで、何よりの強みは10,000Hzまでの周波数を取得できること。

これはいわば「10,000分の1秒の振動が見える」ということで、この精度の高さにより、従来は難しかった機械が壊れる前に異常のサインをキャッチする「故障予知」が可能となるのです。とはいえ、専門知識がなければなかなか難しい。トリシマにはこの診断分析のプロが数多く在席しているので、異常は何が原因で起こっているのか、次はどうすれば防げるのかなど、ソリューションまで提供できるサービスでご好評をいただいています。

今後はさらに多くのデータを集積、AIで解析することで、もっと「こうなったらいいな！」を実現していくため奔走中。
トリシマのイノベーションで業界の常識を変えていきます！

バッテリー内蔵&ワイヤレス
センサ
b-Monitor 2

取付が簡単!
(電気配線工事なし)

現場で!

スマホで機械の状態を
把握可能!

事務所で!

いつでも どこでも
確認可能!